

ジャパンラグビートップチャレンジリーグ2017メンバー表

2017/09/16

15:00 Kick Off

秩父宮

リーグ戦 1stステージ第2週

日野自動車レッドドルフィンズ (Host)			中部電力 (Visitor)		
合計得点	前半	後半	前半	後半	合計得点
			T		
			G		
			PT		
			PG		
			DG		
			計		

レフリー
関谷惇大 (日本協会A2)
タッチジャッジ
川原佑 (日本協会A2)
長山大輔 (関東協会)
大平昂 (関東協会)

日野自動車レッドドルフィンズ						
#	Pos.	氏名	資格	年齢	身長/体重	出身/所属
1	PR	加藤 凌悠		26	172/105	東海大学付属仰星高校 → 東海大学
2	HO	廣川 三鶴		32	177/105	啓光学園高校 → 龍谷大学
3	PR	村上 玲央		27	174/108	関西大学
4	LO	笠原 雄太		32	186/106	七飯高校 → 流通経済大学
5	LO	ジョエル・エバソン	E	27	204/126	セイントケンティガンカレッジ
6	FL	村田 毅		28	185/103	慶應義塾志木高校 → 慶應義塾大学
7	FL	佐々木 隆道		33	184/100	啓光学園高校 → 早稲田大学
8	No.8	千布 亮輔		28	183/105	明治大学
9	SH	古川 浩太郎		22	168/74	東福岡高校 → 専修大学
10	SO	染山 茂範		27	171/76	明治大学
11	WTB	田邊 秀樹		29	175/85	啓光学園高校 → 早稲田大学
12	CTB	ブレット・ガレスピ	E	29	180/92	イプスウィッチグラマー高校
13	CTB	坂本 椋矢		24	175/90	和歌山工業高校 → 朝日大学
14	WTB	小澤 和人		25	173/81	國學院大学久我山高校 → 明治大学
15	FB	ジリス・カカ	F	27	184/90	パーマストーンノースボーイズ
16		長野 正和		30	182/112	日本大学高校 → 流通経済大学
17		郷 雄貴		27	174/103	大分舞鶴高校 → 明治大学
18		廣瀬 賢一		32	182/110	平塚学園高校 → 山梨学院大学
19		木村 勇大		24	188/100	都島工業高校 → 近畿大学
20	Re.	リチャード・スケルトン	E	37	194/114	パトリックスカレッジ
21		山道 翔		27	170/82	長崎北陽台高校 → 九州共立大学
22		片岡 将		29	174/85	関西学院大学
23		小沢 翔平		28	172/79	三好高校 → 東海大学

中部電力						
#	Pos.	氏名	資格	年齢	身長/体重	出身/所属
1	PR	齋藤 健		28	180/102	県横須賀高校 → 早稲田大学
2	HO	山森 裕之		28	172/95	西陵高校 → 法政大学
3	PR	本間 優		24	172/100	大東文化大学
4	LO	近藤 貴敬		26	178/85	仙台育英高校 → 早稲田大学
5	LO	廣佐古 大典		27	182/98	長崎北陽台高校 → 同志社大学
6	FL	永井 若輝		30	174/88	バンボンカレッジ → 帝京大学
7	FL	長尾 恵太		26	173/70	西陵高校
8	No.8	高田 将侑		24	178/94	大分舞鶴高校 → 同志社大学
9	SH	兵頭 水軍		22	169/72	仙台育英高校 → 明治大学
10	SO	浅川 健太		27	170/78	尾道高校 → 立教大学
11	WTB	紀伊 皓太		37	171/88	明治大学
12	CTB	ジャスティン・コベニー	A	32	183/102	ウエスタンシドニー大学
13	CTB	柳 佳貴		27	171/76	大津高校 → 帝京大学
14	WTB	高木 智司		25	171/80	滝川高校 → 立命館大学
15	FB	犬飼 涼二		25	183/87	春日丘高校 → 法政大学
16		服部 光		25	170/95	三好高校 → 帝京大学
17		山森 達也		35	170/114	西陵商業高校
18		鈴木 天良		18	175/95	西陵高校
19		宮田 脩平		28	179/95	伏見工業高校 → 法政大学
20	Re.	菰田 好輝		23	176/76	西陵高校
21		東郷 幹也		30	170/68	同志社高校 → 同志社大学
22		下嶋 智也		31	182/90	東山高校 → 中京大学
23		村瀬 謙介		22	169/76	三好高校 → 帝京大学

\* 背番号の白抜きはキャプテン \* 資格は F:外国籍、A:アジア、E:特別 \* メンバーは変更になる場合があります。メンバーボードをご確認下さい。

『FOR ALL, FOR EARTH. 日本ラグビー協会は、いつも環境に配慮した活動をめざしています』